

人事給与システム 機能要件一覧（共通）

項番	機能区分	機能項目	機能概要	対応可否	備考
1	全体	全体	全ての機能がW E Bシステムであること	推奨	
2	全体	全体	クライアント端末にシステム動作に必要なソフトをインストールすることなく利用可能であること。 (例) Access、Java Applet、ActiveX などがインストール不要	必須	
3	全体	全体	1 0、1 1 上でも稼動可能であること	必須	
4	全体	全体	Edge-IEモード、Edge(chromium)上でも稼動可能であること	必須	
5	メニュー	メニュー	メニュー上の処理に対して、処理概略説明を表示する事が出来ること また、処理概略についてはユーザ側で任意の文言を追加したり、修正したりすることができること 処理概略説明で処理の検索ができること	必須	
6	メニュー	メニュー	月次、年次運用時に実行必要な処理を把握するため、処理の実行履歴を参照する事ができること また、実行履歴の参照については処理実行の日時・実行者・実行時に指定した内容・処理結果など、実行時の指示内容や実行結果が分かるようになっていること。	必須	
7	データ出力	データ出力	特定の業務データをバッチを利用して簡単にC S Vデータに出力できること 出力されるC S Vデータにタブキー出力の有無をパラメータで制御できること また、コピー＆ペースト機能によりEXCEL等へ貼り付けができること	必須	
8	データ出力	データ出力	画面に表示された一覧データを簡単にEXCEL形式に出力できること また、出力したEXCELはオートフィルタで簡単に検索が可能であること 行コピーなどの機能により出力したEXCELのデータが簡単にカスタマイズできること	必須	
9	データ取込	データ取込	C S VやE X C E L形式など、外部作成（編集）したデータを取り込む際には、所定のエラーチェック（必須項目、職員番号の存在チェック、コードの存在チェックなど）が自動的に行われること また、作成（編集）したデータに不正（数字タイプ項目への日本語・英字設定や、列数超過、歯抜けなど）があっても、データが取り込まれ、上記のチェックがおこなわれること	必須	
10	入力補助	コード入力	コードの入力は、コンボボックスもしくは専用の画面により名称による選択が行えること 大量件数のコードは、名称による前方一致検索が行えること。	必須	
11	パラメータ	パラメータ	単価や率、職種などを各種パラメータで管理しているため、制度改正等により変更があっても、システムを改修することなく職員が容易に変更作業を行えること	必須	
12	権限設定	権限設定	利用者毎に利用可能な処理機能のメニューを設定できること	必須	
13	権限設定	権限設定	操作者の権限に応じて、操作を行なう所属の範囲を限定できること また、個人毎に出力する帳票についても同様に所属の範囲を限定できること	必須	
14	権限設定	権限設定	操作を行う所属権限がある職員は、正規職員も会計年度フルタイム職員もあわせて操作可能となること	必須	
15	権限設定	権限設定	ログイン時のパスワードについては、ログインユーザが自分で変更できること また、ログインユーザのパスワード変更を不可能とする設定も可能であること	必須	
16	権限設定	権限設定	ログイン時のパスワード設定については、下記の設定が可能であること また、システム稼動後に設定内容を変更することも可能であること ・パスワード文字数 ・英字のみ・数字のみの禁止 ・パスワード使用期限の設定 ・最近使用したパスワードの使用禁止 ・ログイン失敗許容回数	必須	
17	権限設定	権限設定	個人番号を取り扱う機能については、個人番号事務従事者の権限をもった操作者以外は起動できないこと。 また、個人番号を取り扱う機能を使用した場合、以下のアクセスログ情報が残ること。 ・誰が（操作者） ・いつ（使用日時） ・誰の（対象者） ・何で（使用機能） ・何のために（照会・更新・出力など）	必須	
18	帳票	帳票作成	全ての帳票が紙で印刷可能であること	必須	
19	帳票	帳票作成	EXCEL形式で作成した帳票の出力ができること	必須	
20	帳票	帳票作成	帳票出力時には条件設定、出力順の指定が行なえること	必須	
21	帳票	帳票作成	帳票は印刷する前にプレビューの表示ができること またE X C E L で印刷イメージの保存ができること	必須	

人事給与システム 機能要件一覧（共通）

項番	機能区分	機能項目	機能概要	対応可否	備考
22	帳票	帳票作成	出力順をカスタマイズせず変更できるしくみを持っていること 職員毎に出力する帳票で帳票毎に出力順を任意に変更できること システム内で管理している個人情報の全てをソートキーとして使用できること (例) ・氏名、カナ氏名、戸籍氏名、旧氏名 ・所属、職種、職位・職層、補職、所属異動日、職位異動日 ・採用日、退職予定日 ・表級号給、科目 ・共済組合員番号、健保番号	必須	
23	帳票	帳票作成	作成した帳票を E X C E L で容易に加工できること	必須	
24	帳票	帳票作成	作成した帳票を C S V 形式や P D F 形式で保存できること	必須	
25	処理管理	処理管理	給与計算等のバッチ処理に対して、処理の経過／進捗状況を確認できること また、バッチ処理の実行権限を管理者などの利用者に設定できること	必須	
26	処理管理	処理管理	バッチ処理の実行履歴を確認し、前回の実行時間の事前確認が行える事	推奨	
27	処理管理	処理管理	ログインの状況を画面で照会できること。	必須	
28	処理管理	処理管理	処理の履歴を画面で照会できること。（誰がいつどの処理を行ったか）	必須	
29	処理管理	処理管理	バッチ処理の状況は、該当バッチ処理を実行できる権限を有するユーザのみ参照可能であること。	推奨	
30	オンラインヘルプ	マニュアル	現在の実行処理から、該当処理のオンラインヘルプを呼び出せること	必須	
31	オンラインヘルプ	マニュアル	全ての処理の操作マニュアルがあること	必須	
32	オンラインヘルプ	マニュアル	月次処理のマニュアルがあること	必須	
33	オンラインヘルプ	マニュアル	事象毎（採用、退職、休職、部休、異動など）の業務横断的な運用マニュアルがあること	必須	
34	その他	データ管理	サーバー上に存在するバッチ処理の入力ファイルをクライアント端末から保守（検索、削除、追加）できること	推奨	
35	その他	データ管理	ツールダイアログからサーバー（仮想ディレクトリ）上の TOOL フォルダに存在する配信ファイルがクライアント端末にダウンロードできること	推奨	
36	その他	データ管理	全てのテーブルにユーザが自由に利用可能な項目があり、その項目の登録・修正を行う画面をユーザが簡易に作成できること。	推奨	
37	コード管理	コードメンテナンス	システムで使用するコード（共通、所属、住所、支出科目、金融機関、研修、給料表等）を管理できること コードはデータ出力可能とし、E X C E L 等で修正した結果を一括取込できること また、変更の基準日が管理でき、過去分の計算や名称の表示に使用できること	必須	
38	コード管理	コードメンテナンス	所属コードは最大 7 階層 1 5 桁まで拡張可能であること	必須	
39	コード管理	コードメンテナンス	支出科目について、細々節まで管理できること。また、事業コードについては任意の階層、桁数で管理できること。（最大 25 桁）	必須	
40	コード管理	コードメンテナンス	市町村合併に伴う住所情報に変更があったとき、個人の住所情報等を一括で置換できること。	必須	
41	コード管理	コードメンテナンス	金融機関の統廃合情報を登録できること。また、登録した統廃合情報を元に、職員の振込情報を一括で置換できること。	必須	
42	コード管理	コードメンテナンス	全てのコードに対して有効期間（開始日・終了日）及び、内部コード・外部コードを有し、将来的にコードが廃止となった場合に画面・帳票等で前詰め表示が行えること (例： H 1 7 . 4 時点 1 : 昇給 2 : 特別昇給 3 : 昇格 → H 2 0 . 4 時点 1 : 昇給 2 : 昇格 など . . . また、データ上は H 1 7 . 4 時点の 3 : 昇格と、H 2 0 . 4 時点の 2 : 昇格は同一コードである事が管理できること)	必須	
43	コード管理	コードメンテナンス	全てのコードに対してユーザが自由に付加情報を設定できること。また、付加情報には、項目名称を設定でき、付加情報の内容を画面から登録・修正可能なこと。	推奨	
44	コード管理	コードの統合管理	統合管理となる補職・職種コードは、コードの選択画面で正規職員分・会計年度フルタイム職員分と絞り込みができること。	推奨	
45	会計年度任用職員	職員管理	会計年度フルタイム職員が、正規職員とあわせて管理ができること。	必須	
46	会計年度任用職員	職員管理	当月払いの会計年度フルタイム職員が管理できること。（翌月払いは対象外）	必須	
47	会計年度任用職員	職員管理	会計年度フルタイム職員の次年度の任用予定者の情報を一括で入力できること (現在の任用情報の引継ぎと共済・社保加入状況の修正が可能)	必須	
48	会計年度任用職員	職員管理	会計年度パートタイム職員が、特別職非常勤嘱託職員とあわせて管理ができること。	推奨	
49	会計年度任用職員	職員管理	会計年度パートタイム職員が、複数雇用できること	必須	
50	会計年度任用職員	職員管理	会計年度パートタイム職員は、当月払い／翌月払いのいずれも可能であること。	必須	
51	会計年度任用職員	職員管理	会計年度パートタイム職員は、月給／日給／時給のいずれも可能であること。	必須	

人事給与システム 機能要件一覧（共通）

項番	機能区分	機能項目	機能概要	対応可否	備考
52	会計年度任用職員	職員管理	複数所属に勤務する会計年度パートタイム職員の勤務時間が合算してフルタイム職員と同一となる場合、会計年度フルタイム職員相当となる雇用・支給を行える仕組みを有すること。	必須	
53	会計年度任用職員	職員番号管理	常勤→再任用→嘱託（再雇用非常勤）→会計年度フルタイム→会計年度パートタイムと任用状況が変動しても、同一の職員番号が使用可能であること	必須	
54	会計年度任用職員	職員番号管理	常勤→再任用→嘱託（再雇用非常勤）→会計年度フルタイム→会計年度パートタイムと任用状況が変動した場合、異なる職員番号も使用可能であること	必須	
55	共通	共通	一度に複数の画面を表示でき、並行作業を行う事が可能であること	必須	
56	共通	共通	修正中の職員情報を引き継いで、別処理（別画面）への遷移が可能であること （人事、給与、福利等、どの業務に対してでも遷移可能であること）	必須	
57	共通	共通	複数の職員情報を修正する場合、最初に検索した職員（複数名）の情報を保持したままデータ修正が可能であること （1名ずつ職員の検索を行う必要が無いこと）	必須	
58	共通	共通	画面上の入力必須項目が判別可能であること	必須	
59	共通	共通	日付の入力はカレンダータイプのダイアログからの選択も可能であること	推奨	
60	共通	共通	画面操作をしながらでも、画面上の文字表示が自由に拡大・縮小可能であること	必須	
61	共通	共通	対象者選択時に職員番号を直接入力して指定する場合は、一度に複数の職員番号を直接入力して選択することが出来ること（カンマ区切りでの職員番号指定）	推奨	
62	共通	共通	以下の条件で処理対象者を選択できること。 職員番号、共済番号、カナ氏名、漢字氏名、生年月日、所属、職位、職種、補職、職務、所属異動年月日、職位異動年月日、支出科目、給料表級号給、表級号給発令日、採用日、職員区分、退職予定日、役職定年年月日、性別、在職/退職の別、メールアドレス	必須	
63	共通	共通	カナ氏名や漢字氏名で検索する際に、戸籍氏名及び旧姓使用の氏名両方を検索できること。また、指定により、旧姓での検索もできること。	必須	
64	共通	共通	台帳画面や処理画面に対して処理概略説明を表示する事が出来ること また、処理概略についてはユーザ側で任意の文言を追加したり、修正したりすることが出来ること	必須	
65	共通	共通	『処理を実行しますか？』、『更新が終了しました』等の正常系メッセージは表示しないなど、習熟度によって確認メッセージの表示有無設定が可能であること	必須	
66	共通	共通	処理ウィンドウが閉じる前に『このウィンドウを閉じますか？』というメッセージが表示できること また、そのメッセージの表示/非表示の制御が可能であること	推奨	
67	共通	共通	検証環境があること	必須	
68	共通	共通	各登録画面には備考欄を設け担当者が業務的に必要なメモを残すことが可能であること	必須	